

発表要旨:

「日山信仰に関わる三匹獅子舞の災害下における伝承状況」 一柳 智子

日山は福島県阿武隈山系中部に位置する標高 1000 メートルほどの山であり、その山頂には山麓の 3 地域から三匹獅子舞が奉納されるそれぞれの祠がある。それは、葛尾、田沢、茂原の 3 地域であり、それらの地域は協議会を結成しながら、毎年足並みをそろえて同日に舞を奉納してきた。しかし、東日本大震災後、これらの地域は苦境に立たされ、現在、原災、疫病等の福島県による復興力に寄りつつ、それぞれの現状に即した対応に当たっている。

本発表は、これらの 3 地域の震災後の様子についての三匹獅子舞の奉納、継承状況の調査結果から、日山の存在を鍵として、重層的災害地域における災害対応実態を明らかにすることを目的とします。

「神と関わる身体文化—南インドのカラリパヤット—」 高橋 京子

本発表では、南インドのケーララ Kerala 州発祥のマーシャルアーツ、カラリパヤット Kalaripayattu を対象に、カラリパヤットが如何に神と関わる身体文化であるのかを明らかにする。

カラリパヤットは老若男女問わず誰でも学ぶことができる。ただし、無条件にというわけではなくそこには厳格なしきたりも存在する。州言語で教室を意味するカラリ内には、プータラと呼ばれる女神の祭壇、グルスタンと呼ばれる師匠を祭る祭壇があり、カラリは聖域とも捉えられる。生徒らは入場する際、これらの祭壇に祈りを捧げたり、あるいは生徒であっても月経中の女性は入場ができなかったりと、カラリパヤットの基盤には神が存在している。